

成人看護学臨地実習I

必修 開講年次：2 年次後期 科目区分：実習 単 位：3 単位 講義時間：135 時間

■**科目のねらい**：成人期にある対象を科学的視点でアセスメントし、個々の対象の健康レベルに応じた援助を実践するため、学習した技術を用いて看護過程を展開する能力を養う。

- 到達目標**：①成人期にある対象をライフサイクルの側面から捉えることができる。
②成人期にある対象を身体的、心理的、社会的側面から統合的に捉えることができる。
③成人期にある対象の健康・疾病レベル、環境をアセスメントすることができる。
④看護問題を解決するために援助方法を計画することができる。
⑤成人期にある対象の状況に合わせて援助を実施し、評価することができる。
⑥成人期にある対象と援助的人間関係を形成することができる。
⑦看護学生としての役割・責任を果たすことができる。

■**担当教員**：【○は科目責任者】

○小坂 美智代・小田 和美・川村 三希子・貝谷 敏子・神島 滋子・菅原 美樹・藤井 瑞恵・工藤 京子・檜山 明子・石引 かすみ・柏倉 大作・御厩 美登里・大友 舞・渋谷 友紀・中田 亜由美・星 幸江

■**授業計画・内容**：

実習時期：10月30日～11月17日

実習施設：市立札幌病院、手稲溪仁会病院

実習方法：詳細は実習要項を参照のこと

■**教科書**：なし

■**参考文献**：適宜紹介する

■**成績評価基準と方法**：

評価項目	到達目標							評価基準	評価割合 (%)
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
看護実践・態度	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	目標到達度 積極的な取り組み態度	80
実習記録	◎	◎	◎	◎	◎			目標到達度	
実習報告会	○	○	○	○	○		○	テーマに適した報告	10
実習レポート	○	○	○	○	○			テーマに適した内容	10
出席								2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：1年から2年後期前半までの学修内容を統合する重要な実習です。実習までに必修単位を全て修得していることを期待します。実習期間は3週間です。健康管理に留意しながら、看護職を目指す学生として自己課題を明確にし、目的意識を持って実習に臨んでください。